

平成30年3月16日  
豊岡市商工会

## 豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(平成30年1月～3月期実績、平成30年4月～6月期見通し)

《1》 調査時点 平成30年3月5日

《2》 調査対象

調査依頼先  
150企業

有効回答数  
124企業 (回答率82%)

業種	企業数	城崎		竹野		日高		出石		但東		回答数
		対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	
製造業	25	2	2	2	2	9	8	8	8	4	3	23
建設業	26	2	2	3	3	13	11	5	4	3	3	23
小売業	36	10	8	3	2	12	8	9	9	2	2	29
飲食業	20	6	7	2	1	5	3	6	6	1	1	18
宿泊業	22	8	6	6	4	8	5	0	0	0	0	15
サービス業	21	2	2	1	0	12	8	3	3	3	3	16
合計	150	30	27	17	12	59	43	31	30	13	12	124

《3》 調査項目

- ①売上高      ②仕入単価      ③採算性      ④資金繰り      ⑤景況感  
⑥従業員の人数      ⑦直面している経営上の問題      ⑧今後の取組み  
⑨日高 I C 開通による影響      ⑩日高 I C 開通による意見      ⑪自由意見

【平成30年1～3月期実績】

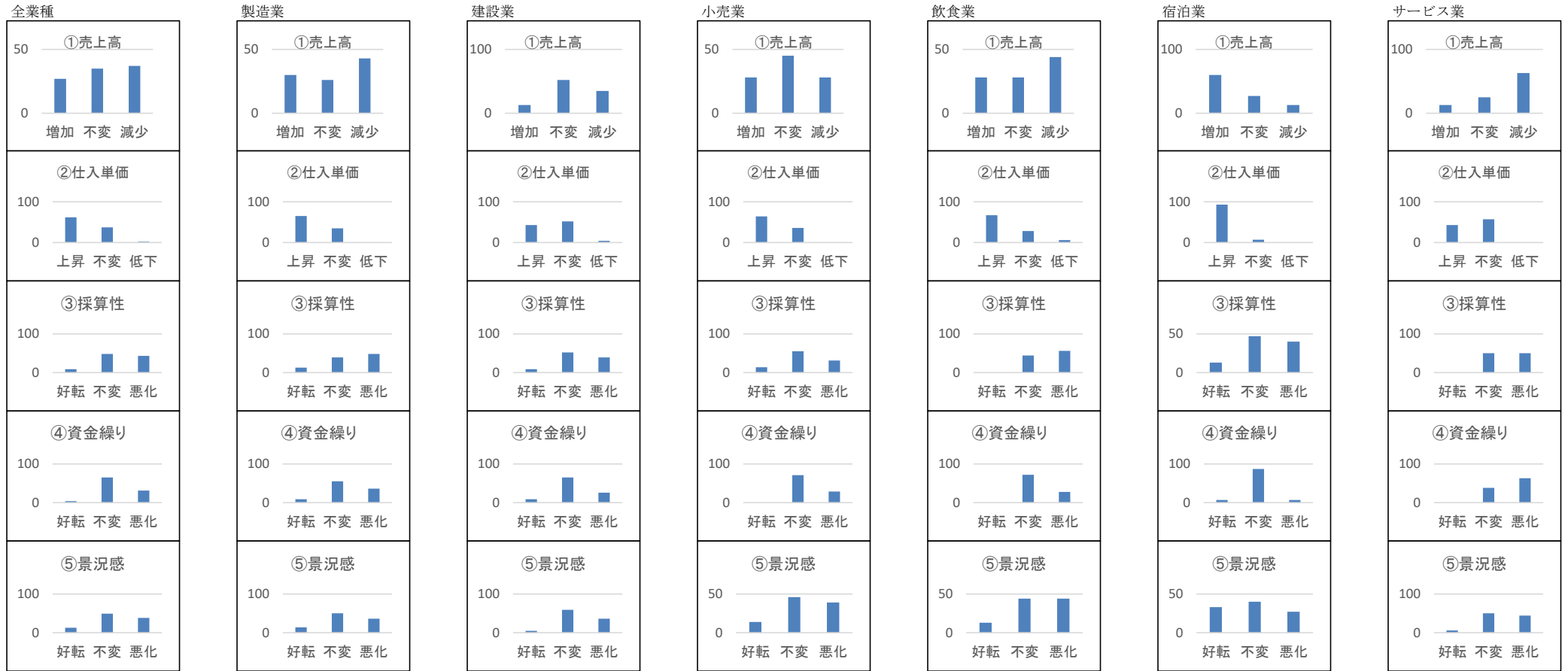
(1)	全業種の売上高DIは、(前期▲→17)▲17(前期差0)となり横ばい。
	業種別売上高DIは、建設業、小売業、宿泊業が上昇し、製造業、飲食業、サービス業が低下した。
(2)	全業種の仕入単価DIは、(前期53→)55(前期差2ポイント増)となりプラス幅が拡大した。
	業種別仕入単価DIは、製造業、建設業、小売業、サービス業が上昇し、飲食業、宿泊業が低下した。
(3)	全業種の採算性DIは、(前期▲31→)▲27(前期差4ポイント増)となりマイナス幅が縮小した。
	業種別採算性DIは、製造業、小売業、宿泊業が上昇し、サービス業が横ばいで、建設業、飲食業が低下した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、(前期▲12→)▲25となり(前期差13ポイント減)となりマイナス幅が拡大した。
	業種別資金繰りDIは、建設業が上昇し、製造業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が低下した。
(5)	全業種の景況感DIは、(前期▲22→)▲26(前期差4ポイント減)となりマイナス幅が拡大した。
	業種別の景況感DIは、小売業が上昇し、宿泊業が横ばいで、製造業、建設業、飲食業、サービス業が低下した。

【平成30年4～6月期の見通し】

(1)	全業種の売上高DIは、▲25となり8ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別売上高DIは、建設業、小売業、サービス業が上昇し、製造業、飲食業、宿泊業が低下する見通し。
(2)	全業種の仕入単価DIは、56となり1ポイントプラス幅が拡大する見通し。
	業種別仕入単価DIは、建設業、飲食業が上昇し、製造業が横ばいで、小売業、宿泊業、サービス業が低下する見通し。
(3)	全業種の採算性DIは、▲36となり9ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別採算性DIは、小売業が上昇し、サービス業が横ばいで、製造業、建設業、飲食業、宿泊業が低下する見通し。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲31となり6ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別資金繰りDIは、小売業、飲食業、サービス業が上昇し、製造業、建設業、宿泊業が低下する見通し。
(5)	全業種の景況感DIは、▲30となり4ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別の景況感DIは、建設業、小売業、飲食業が上昇し、製造業、宿泊業、サービス業が低下する見通し。

【1】前年同期比

前年同期（平成29年1月～3月）と比べた今期（平成30年1月～3月）の状況



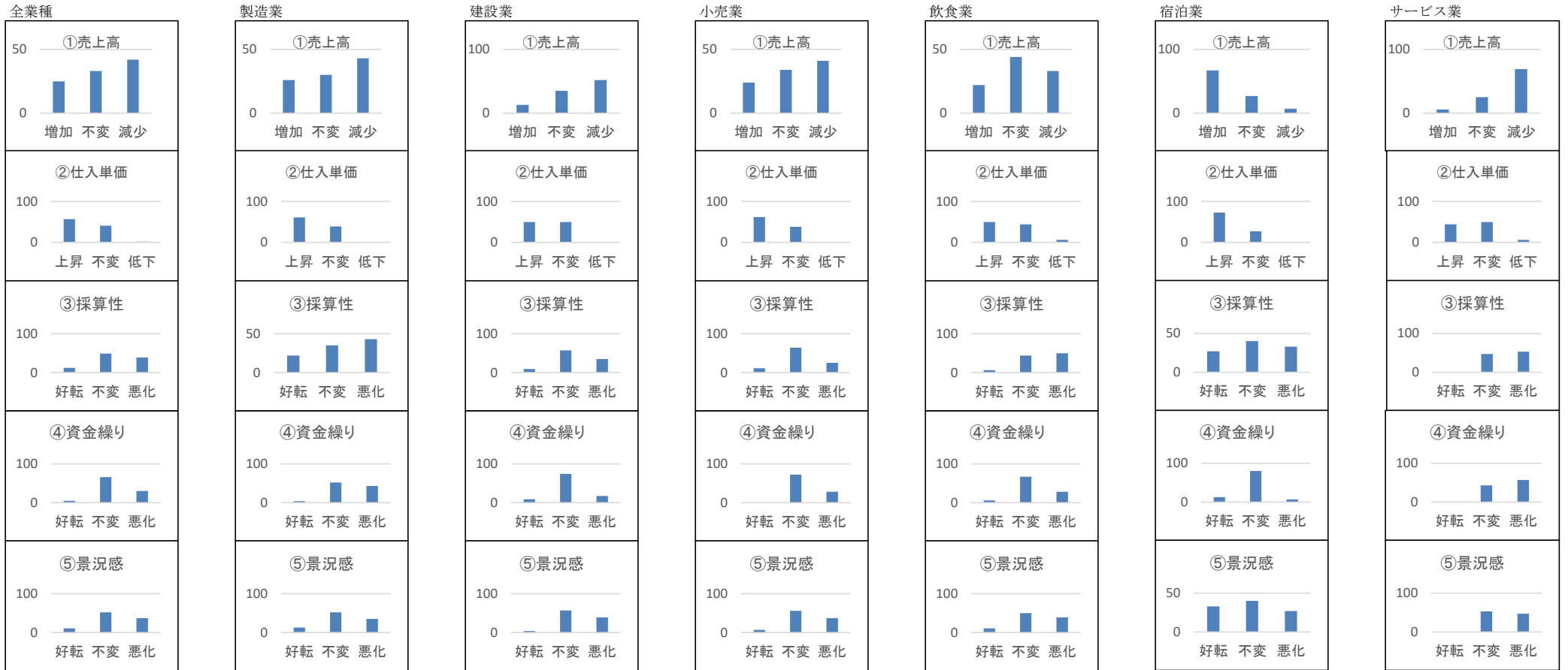
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 10	▲ 13	▲ 22	0	▲ 16	47	▲ 50
仕入単価	60	65	39	64	61	93	43
採算性	▲ 34	▲ 35	▲ 30	▲ 17	▲ 56	▲ 27	▲ 50
資金繰り	▲ 27	▲ 27	▲ 17	▲ 29	▲ 28	0	▲ 63
景況感	▲ 25	▲ 22	▲ 31	▲ 25	▲ 31	6	▲ 38

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比

前期（平成29年10月～12月）と比べた今期（平成30年1月～3月）の状況



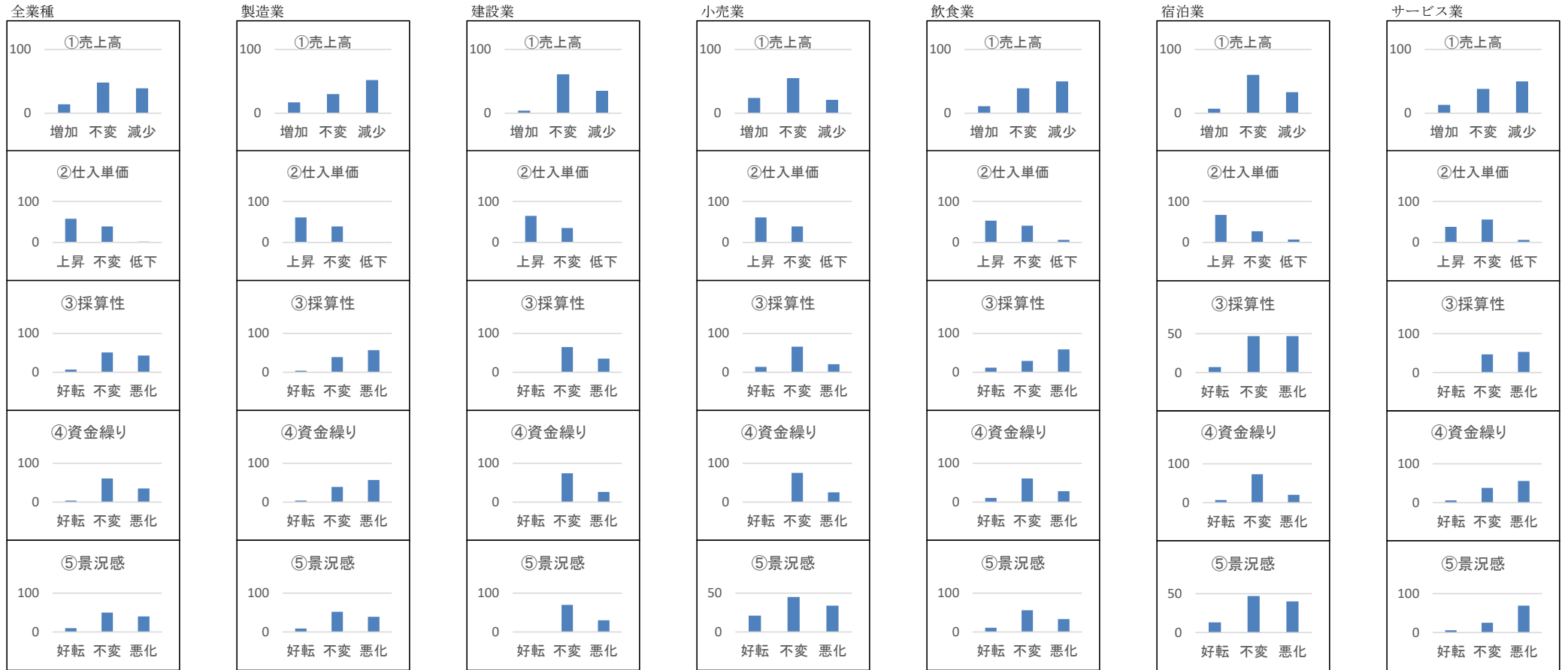
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 17	▲ 17	▲ 39	▲ 17	▲ 11	60	▲ 63
仕入単価	55	61	50	62	44	73	38
採算性	▲ 27	▲ 21	▲ 26	▲ 14	▲ 44	▲ 6	▲ 53
資金繰り	▲ 25	▲ 39	▲ 8	▲ 28	▲ 22	6	▲ 57
景況感	▲ 26	▲ 22	▲ 35	▲ 30	▲ 28	6	▲ 47

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】来期の見通し

今期（平成30年1月～3月）と比べた来期（平成30年4月～6月）の見通し

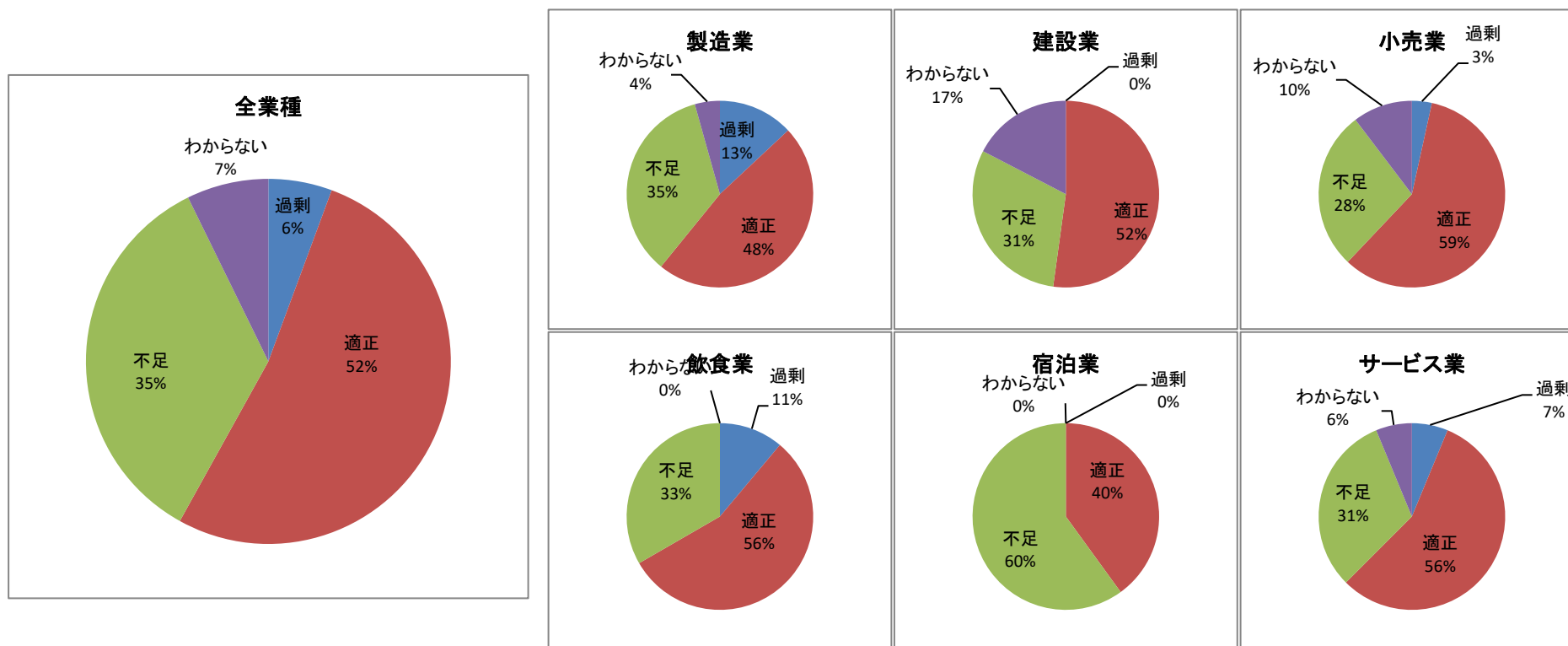


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 25	▲ 35	▲ 31	3	▲ 39	▲ 26	▲ 37
仕入単価	56	61	65	61	47	60	32
採算性	▲ 36	▲ 53	▲ 35	▲ 7	▲ 47	▲ 40	▲ 53
資金繰り	▲ 31	▲ 53	▲ 26	▲ 25	▲ 17	▲ 13	▲ 50
景況感	▲ 30	▲ 30	▲ 30	▲ 13	▲ 22	▲ 27	▲ 63

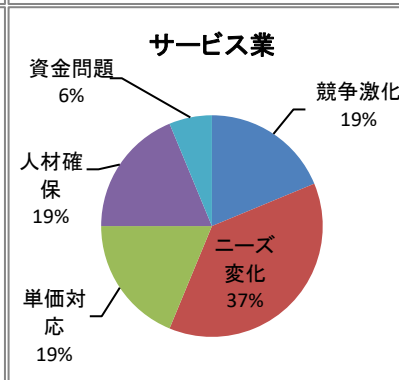
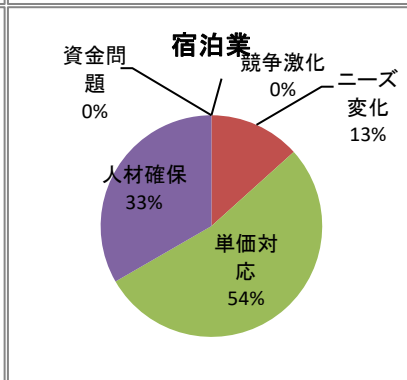
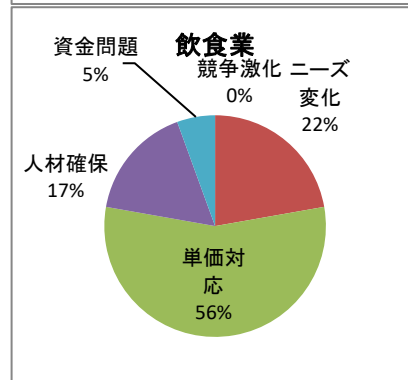
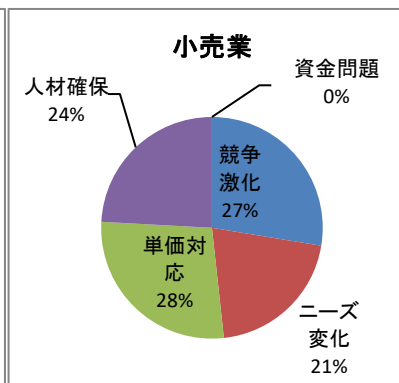
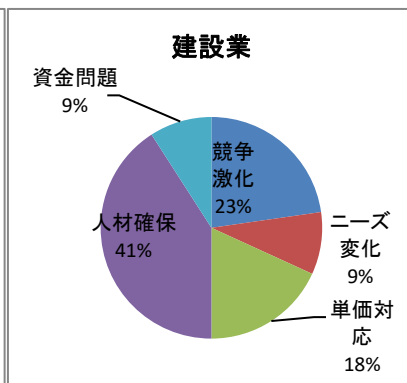
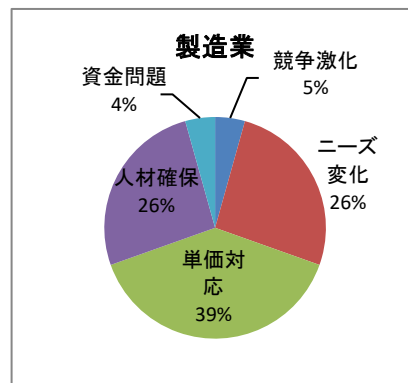
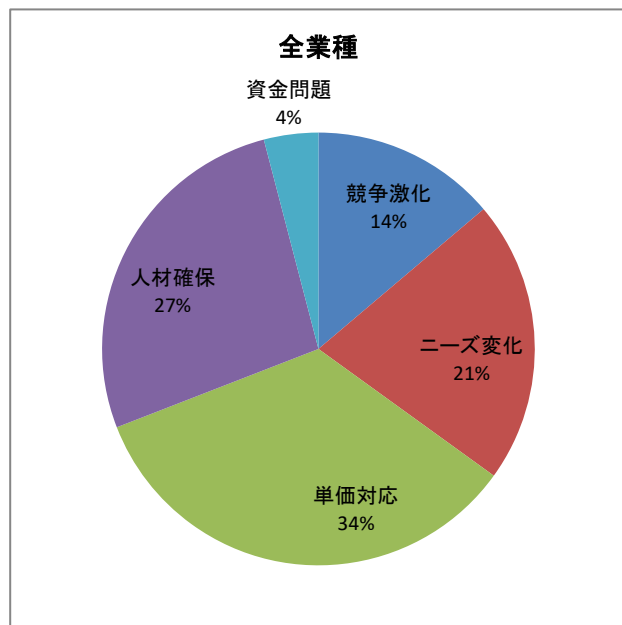
(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】従業員（臨時・パート含む）の人数について



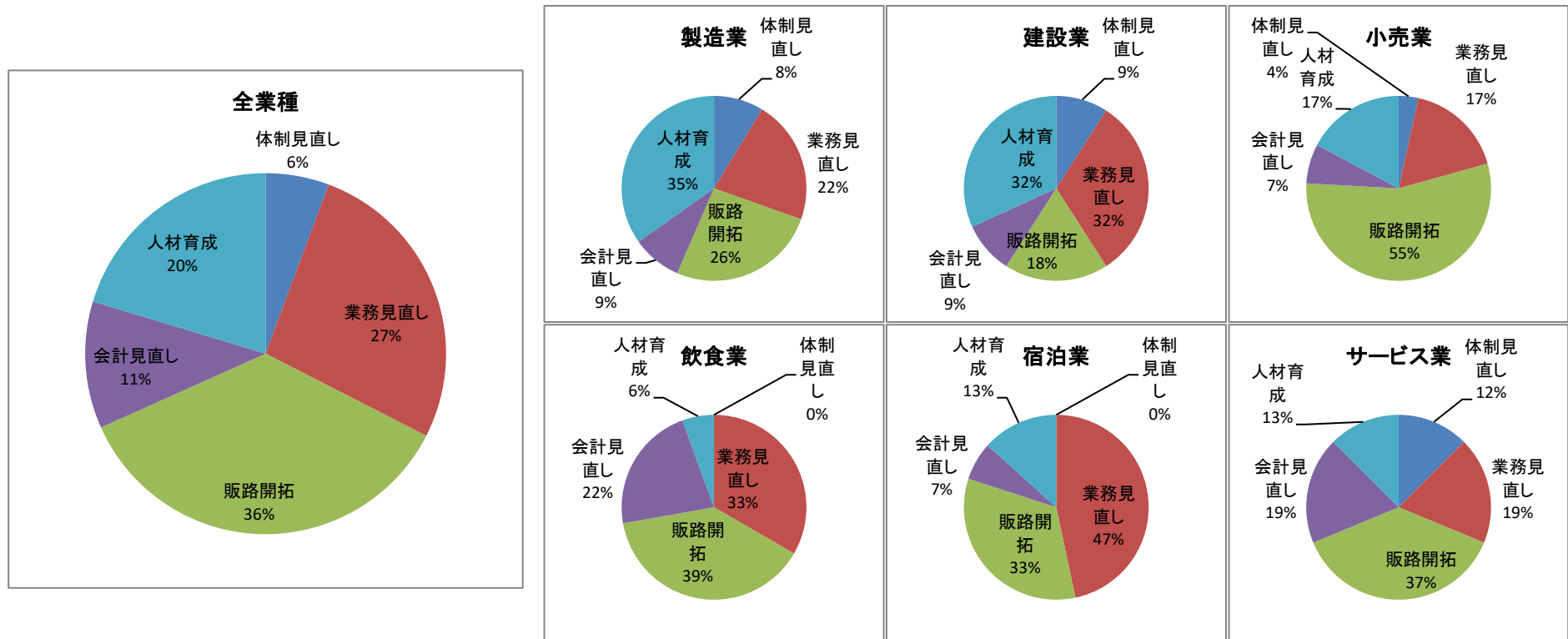
従業員の人数 (件数)	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
過剰	7	5.6%	3	13.0%	0	0.0%	1	3.4%	2	11.1%	0	0.0%	1	6.3%
適正	65	52.4%	11	47.8%	12	52.2%	17	58.6%	10	55.6%	6	40.0%	9	56.3%
不足	43	34.7%	8	34.8%	7	30.4%	8	27.6%	6	33.3%	9	60.0%	5	31.3%
わからない	9	7.3%	1	4.3%	4	17.4%	3	10.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%
合計	124		23		23		29		18		15		16	

【5】直面している経営上の問題点について



直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	17	13.8%	1	4.3%	5	22.7%	8	27.6%	0	0.0%	0	0.0%	3	18.8%	競争激化
消費者（製品）ニーズ変化への対応	26	21.1%	6	26.1%	2	9.1%	6	20.7%	4	22.2%	2	13.3%	6	37.5%	ニーズ変化
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	42	34.1%	9	39.1%	4	18.2%	8	27.6%	10	55.6%	8	53.3%	3	18.8%	単価対応
必要な人材の雇用確保	33	26.8%	6	26.1%	9	40.9%	7	24.1%	3	16.7%	5	33.3%	3	18.8%	人材確保
事業資金の借入難	5	4.1%	1	4.3%	2	9.1%	0	0.0%	1	5.6%	0	0.0%	1	6.3%	資金問題
合計	123		23		22		29		18		15		16		

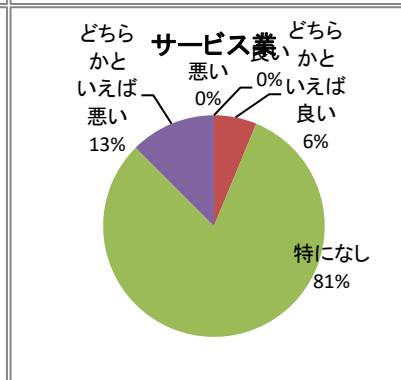
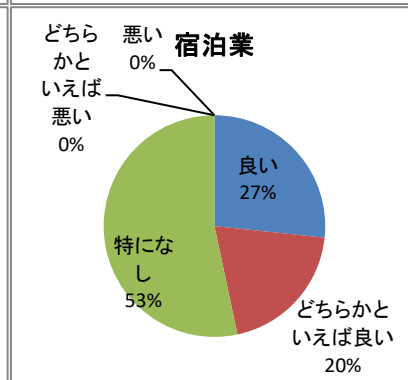
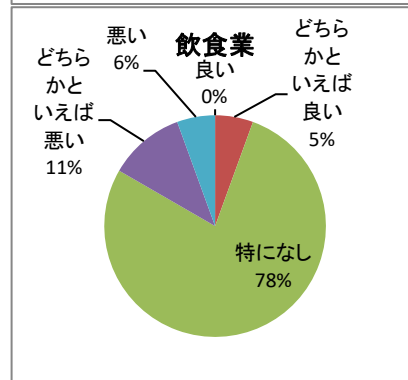
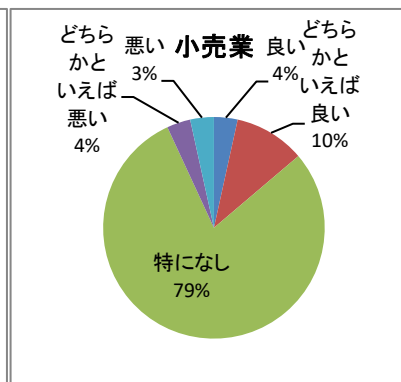
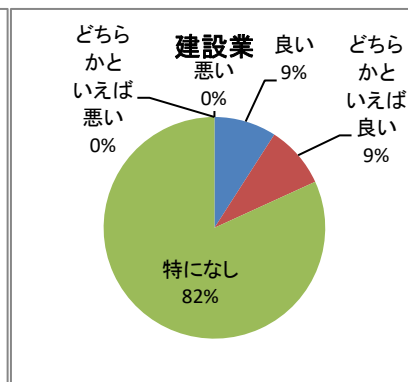
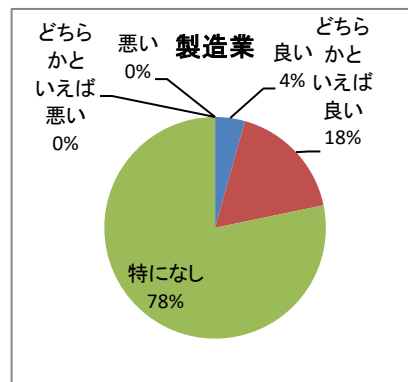
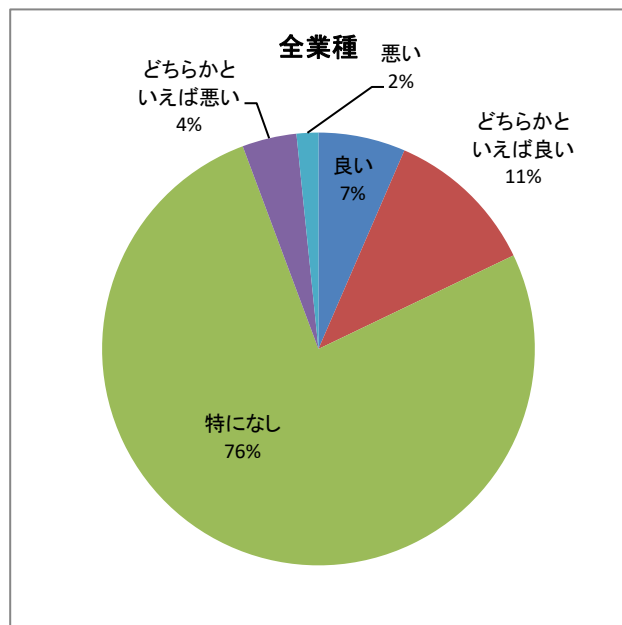
【6】 今後、取り組んでいきたいこと



今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
就業規則、労務管理体制の見直し	7	5.7%	2	8.7%	2	9.1%	1	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	12.5%	体制見直し
業務の効率化、仕事の見える化	33	26.8%	5	21.7%	7	31.8%	5	17.2%	6	33.3%	7	46.7%	3	18.8%	業務見直し
販路開拓（新規市場開拓・海外展開等）	44	35.8%	6	26.1%	4	18.2%	16	55.2%	7	38.9%	5	33.3%	6	37.5%	販路開拓
消費税増税対策、会計管理の見直し	14	11.4%	2	8.7%	2	9.1%	2	6.9%	4	22.2%	1	6.7%	3	18.8%	会計見直し
人材育成、社員教育	25	20.3%	8	34.8%	7	31.8%	5	17.2%	1	5.6%	2	13.3%	2	12.5%	人材育成
合計	123		23		22		29		18		15		16		



【7】日高インターチェンジ開通による、事業への影響はありましたか？



日高IC開通による事業への影響	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
良い影響があった	8	6.5%	1	4.3%	2	9.1%	1	3.4%	0	0.0%	4	26.7%	0	0.0%	良い
どちらかといえば、良い影響があった	14	11.4%	4	17.4%	2	9.1%	3	10.3%	1	5.6%	3	20.0%	1	6.3%	どちらかとい えば良い
特になかった	94	76.4%	18	78.3%	18	81.8%	23	79.3%	14	77.8%	8	53.3%	13	81.3%	特になし
どちらかといえば、悪い影響があった	5	4.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.4%	2	11.1%	0	0.0%	2	12.5%	どちらかとい えば悪い
悪い影響があった	2	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.4%	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	悪い
合計	123		23		22		29		18		15		16		

【8】日高インターチェンジ開通で、どのような影響がありましたか？

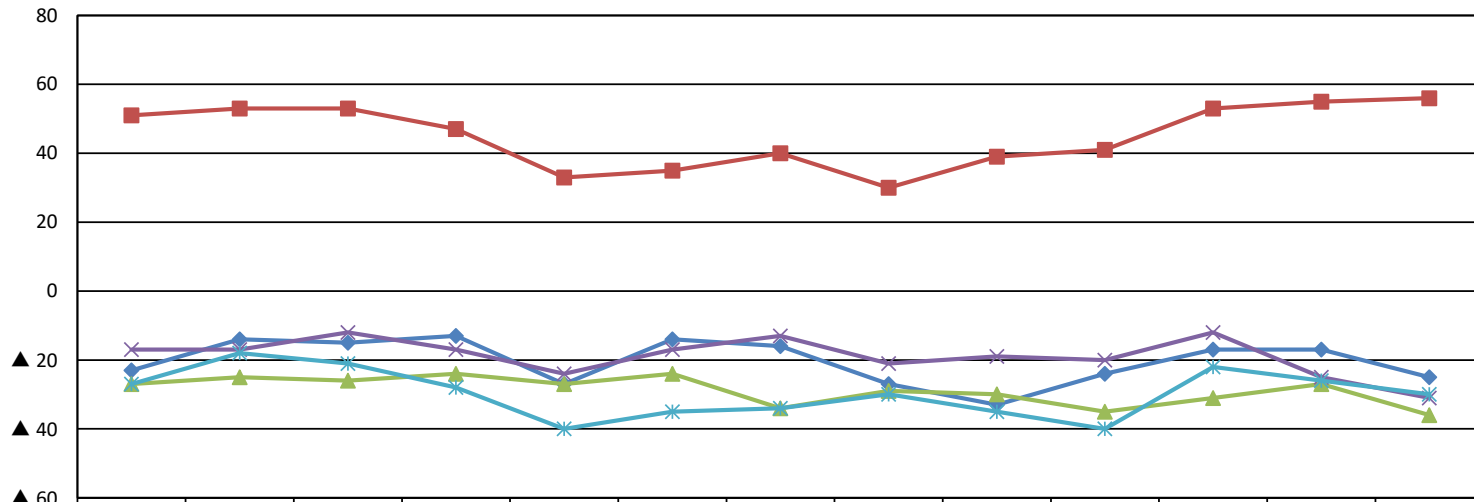
1	製造業	現場に時間を掛けずに早く行けるようになった。（城崎）
2		大屋町、関宮町への移動が便利になりました。（日高）
3		京阪神へのアクセス時間が幾分短くなった。（日高）
4	建設業	現場までの移動が短縮され便利になりました。（日高）
5		交通の便が良くなった。（日高）
6	小売業	スキー、スノーボードへ行くアクセスが便利になって日帰りの方が増えた。（日高）
7		近隣ドライバーの安全意識の高まりにより、来店頻度が上がった。（日高）
8		店前の国道の通行量が減少した。（但東）
9	飲食業	城崎方面に向かう道が酷く渋滞するようになり、地元住民の移動に支障が生じている。（日高）
10		出石への誘導版の設置が遅れている。城崎からのお客の誘導が必要。（出石）
11	宿泊業	城崎温泉から京阪神へのアクセスが良くなった。（城崎）
12		阪神方面から来られるお客さんが、かなり時間が早くなったと喜んでくださいました。（竹野）
13		お客様の到着が早くなった。会合で阪神地区への時間が短縮された。（竹野）
14		この冬は前年より雪もあり、神鍋へ来ていただいたお客様も増えましたが、宿泊も増えましたが、日帰りのお客様も増えた。（日高）
15		移動時間短縮で、日帰りの際に食事をして帰られた。（日高）
16		商圈範囲が広がった。（日高）
17		チェックイン前後に神鍋へスキーやボードに行かれる方が多いように感じた。予約への影響は特に感じておりません。（日高）
18		早く到着でき便利になったと喜んでいただいています。（日高）
19	サービス業	都心や観光地までのアクセスが良くなった為、以前に比べて日帰りで行かれる距離が延び、その分バス料金のアップにもつながっているため大変有難いです。（日高）

【9】自由コメント

1	大雪でJR、自動車とも、影響があり、観光客の減少を通じて、売上減につながったように思う。（製造業）
2	車の流れが集中している今こそ、日高にお金を落としてくれる仕組みを早急に整備しないといけないと思われます。その計画すら未だ無いような気がします。もしあったら、アナウンスしてください。（製造業）
3	大雪でJR、自動車とも、影響があり、観光客の減少を通じて、売上減につながったように思う。（製造業）
4	期待感も含めて消費税増税に先行き不安を感じる。（飲食業）
5	2月の海岸部の大雪により、客数の減少が売り上げに大きく影響した。特にメディアによる豊岡の大雪放映が影響した。（飲食業）
6	昨年12月から3月までの間、冬季休業したため売上は低下しております。また従業員の転職もあり、今後の営業体制を見直す時期に来ており、カフェは週末及び各種イベントの開催時期のみの営業として経費を削減していき、営業していない平日に当店舗を使って催事をしてくれる方を募集し、施設の有効利用を探っていきたいと思ひます。商工会でそのようなご希望の方がおられたら、またご紹介下さい。（飲食業）

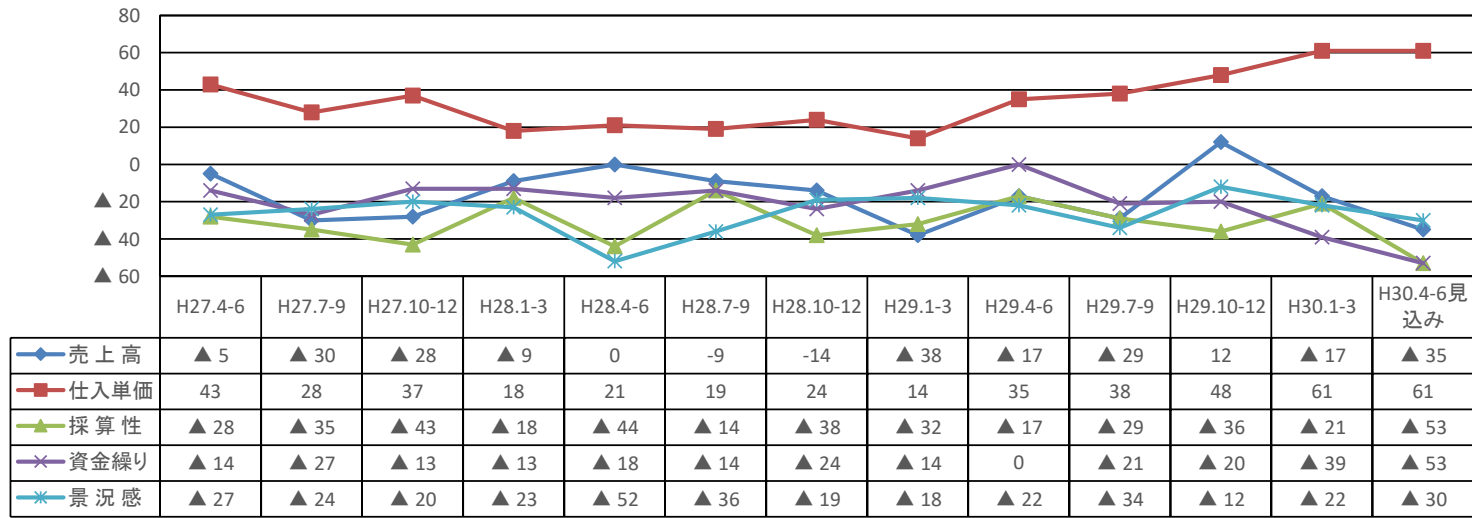
豊岡市商工会管内における3年間の景気動向調査結果

全業種DI推移

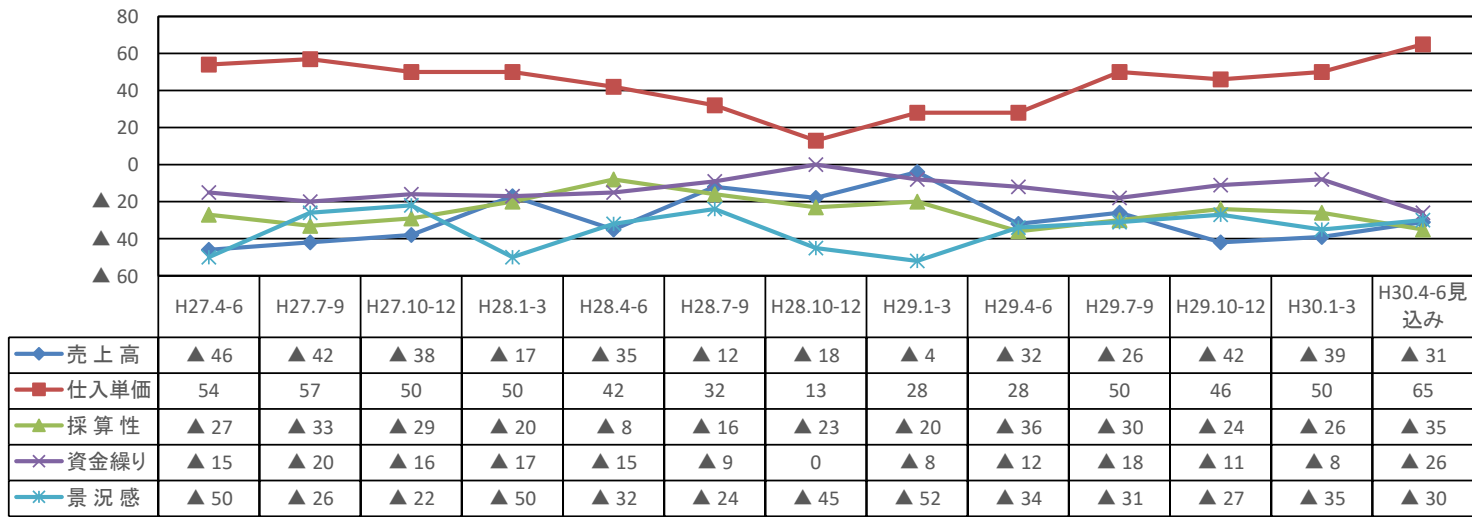


	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9	H28.10-12	H29.1-3	H29.4-6	H29.7-9	H29.10-12	H30.1-3	H30.4-6見込み
● 売上高	▲ 23	▲ 14	▲ 15	▲ 13	▲ 27	▲ 14	▲ 16	▲ 27	▲ 33	▲ 24	▲ 17	▲ 17	▲ 25
■ 仕入単価	51	53	53	47	33	35	40	30	39	41	53	55	56
▲ 採算性	▲ 27	▲ 25	▲ 26	▲ 24	▲ 27	▲ 24	▲ 34	▲ 29	▲ 30	▲ 35	▲ 31	▲ 27	▲ 36
× 資金繰り	▲ 17	▲ 17	▲ 12	▲ 17	▲ 24	▲ 17	▲ 13	▲ 21	▲ 19	▲ 20	▲ 12	▲ 25	▲ 31
* 景況感	▲ 27	▲ 18	▲ 21	▲ 28	▲ 40	▲ 35	▲ 34	▲ 30	▲ 35	▲ 40	▲ 22	▲ 26	▲ 30

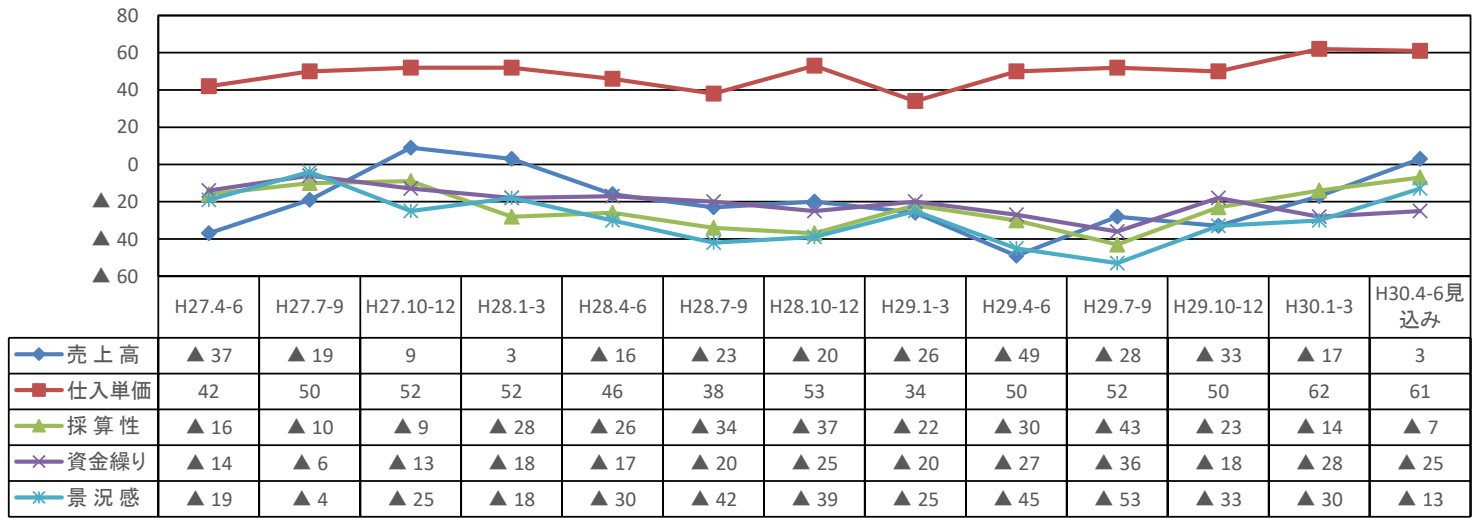
### 製造業DI推移



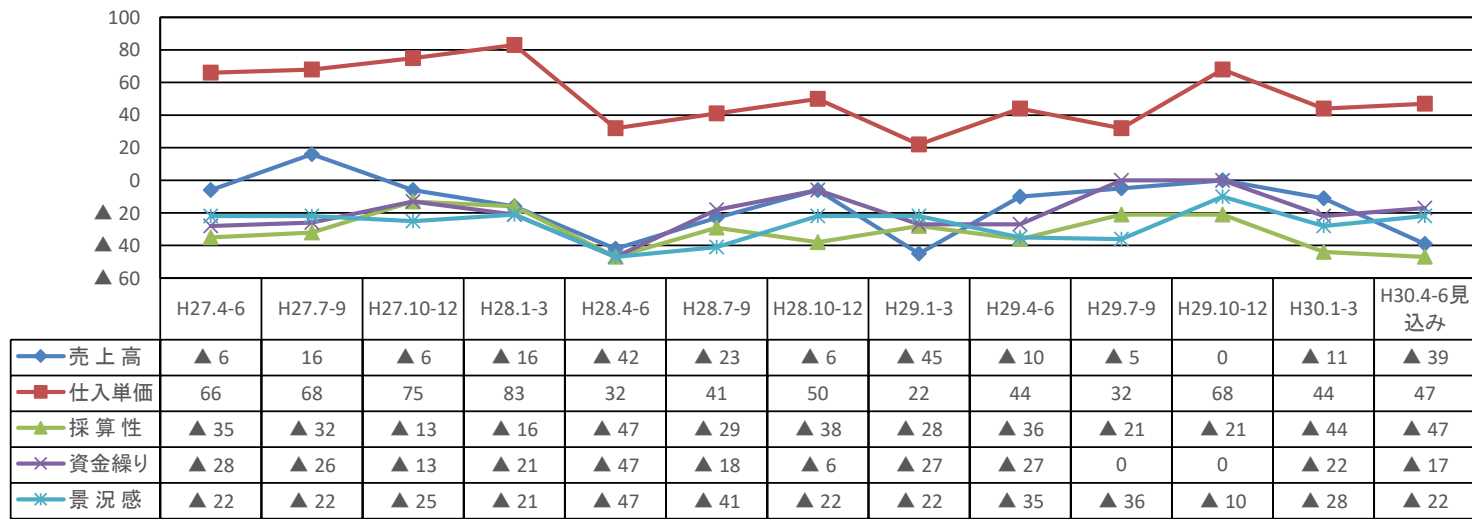
### 建設業DI推移



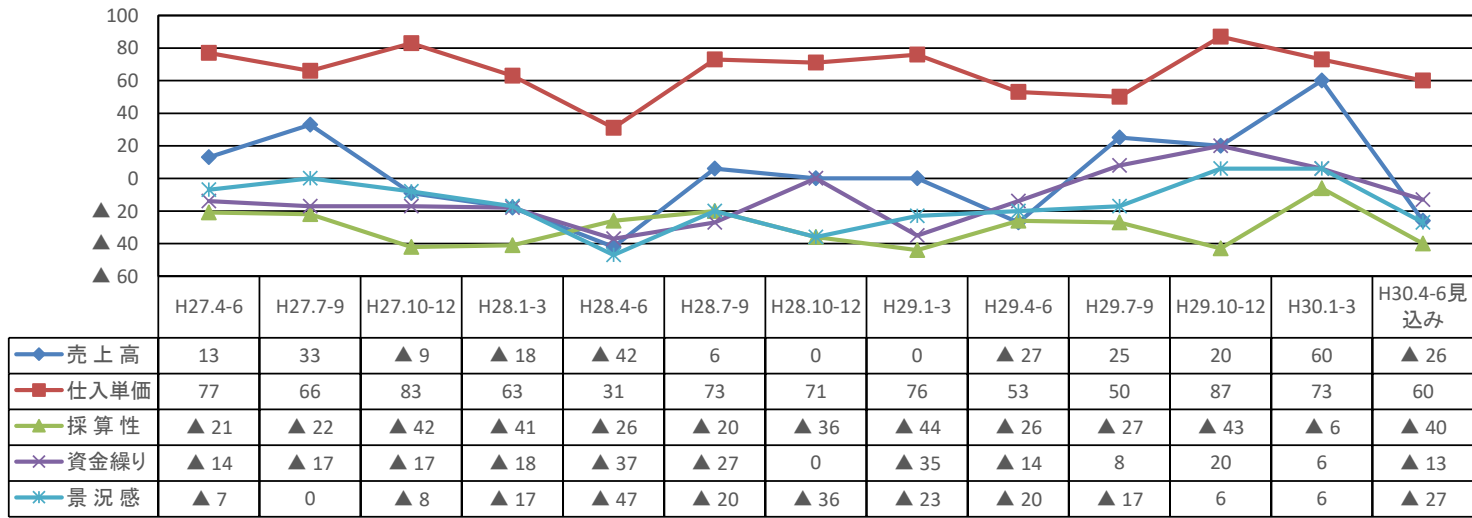
### 小売業DI推移



### 飲食業DI推移



### 宿泊業DI推移



### サービス業DI推移

